

古賀すたいる主催 文化・芸術のまちづくりに関する視察・意見交換会 実施報告

- 開催日時 令和元年10月14日（月・祝）10時00分～14時30分
- 会場 津屋崎千軒一帯
- 参加者 4団体 7名

1 現地視察について

市や観光協会、地元の住民が共催するイベント「音楽散歩 2019」の現地視察を行いました。

現地視察の様子

「音楽散歩」は、年に1回、津屋崎千軒一帯で開催され、全国から集まった様々なジャンルのアーティストや福津市の中学校吹奏楽部による音楽イベントです。津屋崎千軒内にある酒蔵や古民家カフェ内で同時並行して演奏が行われます。

年々参加者が増えており、住民がイベントを主催することによって、無理のない継続的な運営をされているとの話を伺い、参加者一同自身の活動の参考にされていました。

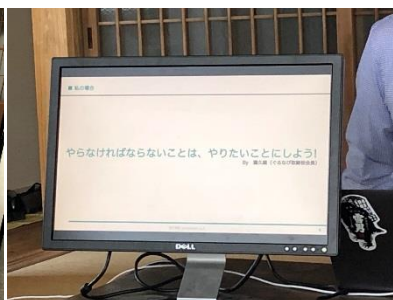


2 事例報告

報告者 ・Hasu-ya Sewing Café 安井 廣由 氏

津屋崎で営業されているカフェ Hasu-ya Sewing Café の安井氏に、自身が津屋崎に移住しカフェを経営されるようになったきっかけや、これまで勤めてきた経験を通じて現在されている活動についてお話しいただきました。

「やらなければならないことは、やりたいことにしよう」「目的によって使うメディアを選び、“相手目線”で同じ思いを持つ人に伝えるようにすると、分かりやすく共感が得やすい」等、これまで得た経験を踏まえたお話を伺いました。



3 基調講演「みなとを中心とした街作り」

講演者 公益社団法人ながさき地域政策研究所 理事長 菊森 淳文 氏

公益社団法人ながさき地域政策研究所の菊森理事長に、ご自身が事業に関わられた「みなとオアシス NAGASAKI」の登録過程や活動内容等についてお話いただきました。

みなとオアシスとは、“みなと”を中心とした地域住民の交流や観光振興を促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行なわれる施設として、国土交通省港湾局長が登録したものです。菊森理事長が実践されたまちづくりでは、地元の旅館とはターゲットを変えた高級ホテルの再開発、花火大会や音楽フェス、マラソン大会を継続的に開催することにより、町に賑わいをもたらしたこと、まちづくりを成功させるには、キーパーソンの人材育成や官民共同によるまちづくり計画の策定と実践が必要であることをお話いただきました。

参加者からは“みなと”だけではなく、“まちの駅”を中心としたまちづくりに関する質問など、様々な質問が出ました。



4 交流会

参加者による自身の活動を紹介する交流会を行いました。されている活動は様々ですが、今回の研修を通じて学んだことを自身の活動に生かしていきたいとの声が多く聞かれました。

